

デジタルものづくり拠点化推進

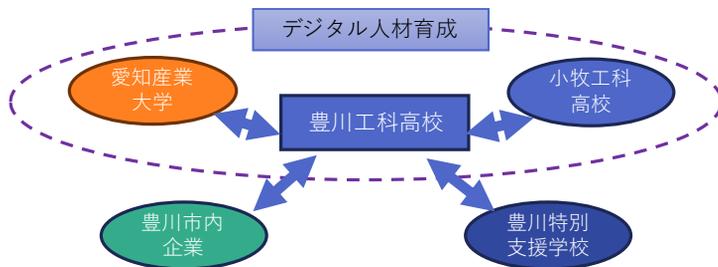
愛知県立豊川工科高等学校 種市俊樹

概要

デジタルを活用したものづくりを、より多くの人に経験してもらうことを目的に活動を推進している。特に **3Dプリンター** や **CADソフト** を活用することで、創造力と論理的思考力を育てる。また、生徒が「学ぶ側」から「教える側」に変化することで、**地域や後輩への波及効果**も期待している。

これまでの取り組み紹介

愛知産業大学との**高大連携**によって、出前授業を実施。**建築**の歴史や構造強度について学び、壊れにくいものづくりを学んだ。



○成果

生徒が3Dモデリングにおいて、**トラス構造**を自ら取り入れるようになった。本校に**建築学科が無い**という課題を、**外部連携により補完**できた。

他の産業分野に触れることで自身の**知識を広く応用**していきたいという意識が高まった。



○その他の取り組み

- ・ 教員研修 **LOVOT導入講習**
大規模言語モデル
- ・ 課題研究における**生成系AIの活用**



まとめと今後の展望

○まとめ

本校には現在、PC・3Dプリンター・CADソフトが揃っており、デジタルものづくりの環境が整いつつある。ただし、PC設置教室の電源工事は未完了で、現在進めている最中である。

○今後の展望

今後は**民間企業との連携**を進め、**CADスキルや3Dモデリング技術を習得**。地域のデジタルものづくり拠点としての機能を果たしていくことを目指す。また、**ドローン技術の導入**を検討中。